

## 有機草地を利用した生薬栽培への取り組み

北里大学獣医学部附属

フィールドサイエンスセンター八雲牧場

北里大学は医療系の学部を有した大学であり、現在農医連携と称し「食と健康」、「動物介在医療」、「東洋医学の普及」をテーマに農と医療の連携した事業が盛んに行われている。その中で文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」 拠点公募において、COI-T(トライアル)拠点として採択され東洋医学総合研究所を中心に薬学部、薬用植物園および八雲牧場が協力し、生薬国内生産拠点の整備と無農薬、減農薬で栽培可能な高品質生薬の開発安全を目的とし有機的管理を行う八雲牧場の草地の一部を利用して試験栽培に取り組んでいる。

### 1. 八雲牧場における生薬生産の可能性

東洋医学総合研究所では診療活動として日本の漢方理論に基づく煎じ薬を中心とした診療と、わが国の伝統的手法に則った鍼灸治療を行っている。漢方においては生薬を中心とした漢方薬の調剤や製剤等を担当する漢方薬局も設置されており、漢方・鍼灸ともに全国より東洋医学的治療を求めて患者様が訪れている。しかし現在使われている漢方の原料である生薬のうち80%は中国からの輸入に依存している。そのため昨今表面化してきている日中の外交問題による生薬の安定供給における不安、農薬類使用量における生薬自体の安全性における不安等が問題視されてきている。そこで北里大学では農医連携の一環として国内における安全で高品質な生薬生産に取り組むこととなった。

前述したよう八雲牧場の草地はすでに有機草地として安全性を明らかにしているため、草地の一部を耕起・整地し無農薬、無除草の生薬生産を開始した。併せて気候的な対照地として相模原キャンパスにある薬学部附属薬用植物園、八雲牧場の有機的な管理の対照地として町内事業者を設定し現在3か所でキクカの試験栽培を行った。

試験対象植物はキクカであるが、八雲牧場では昨年より試験栽培を行ってきたチョウセンゴミシ、センキュウに加え、ニホンハッカ、カミツレおよびマルチ栽培としてシソ、ケイガイ、メハジキの栽培も同時進行している。

### 2. 生薬の種類と生育状況

栽培している植物には以下のような薬効がある。

キクカ…風邪 高血圧 めまい しもやけ 腫れ物 食用

チョウセンゴミシ…滋養強壯 強精 咳、たん むくみ(浮腫、水腫)

センキュウ…冷え性 生理痛 月経不順

シソ…興奮性発汗、解熱、鎮咳(ちんがい)、鎮静、鎮痛、利尿

ハッカ…感冒(かぜ)、頭痛、咽頭痛、皮膚掻痒症

ケイガイ…風邪 腫れ物 できもの

メハジキ…腹痛 めまい 産前産後 月経不順

カミツレ…滋養強壯 便秘 下痢 痔 風邪 ぜんそく(気管支ぜんそく) 不眠

神経痛 リュウマチ 美容、美膚 腰痛 のどの炎症 口内炎 歯痛



キクカ



チョウセンゴミシ



センキュウ



シソ



ハッカ



ケイガイ



メハジキ



カミツレ

### 3. 今後の展望

北里八雲牛はすでに北里大学病院をはじめとする病院において患者食として利用されている。理念を大切にして生産してきた北里八雲牛は今では農医連携の一端を担っている。現在行っている生薬栽培が軌道に乗り八雲牧場で生産された生薬によって患者様の健康を守り、北里八雲牛で健康が維持されるようになったとき、まさに医食同源であるといえる。このような北里ブランドの牛肉、生薬の生産に向けて力を注いでいきたい。

リンク先：<http://yakumo23.blog.fc2.com/>